

# みつくら

令和 7年 4月15日 第432号  
 発行 大瀬川活性化会議  
 編集 「みつくら」編集委員会  
 花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2  
 大瀬川振興センター 電話45-6472

## “お〜い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”

### 7区自治公民館で3団体の総会が開催される

7区では、3月23日に7区自治公民館で3団体（自治公民館・自主防災会防災会・農家組合）の総会が開催された。最初は、7区自治公民館（菅原清孝館長）の総会では51戸中、本人出席36名と委任8名で総会成立宣言され、議長に畠山勝敏さんを選出して議事に入った。事業報告の中で、長年7区自治公民館の管理人として務めた畠山幸男さんを石鳥谷自治公民館連絡協議会に推薦したことへの報告があった。（後日、表彰が決定）議事の中で、公民館駐車場の除雪作業に日当を配布すべきと意見があり、運営委員会で協議することとした。また、大瀬川さんさ踊り保存会から寄付金の申し出があり補助金または助成金を活用して、公民館にエアコン設置の検討を行うことが報告され全4議案が可決された。続いて、7区自主防災会（菅原敏幸会長）の総会に入り同じく議長に畠山勝敏さんを選出し、役員選出を含めた全3議案が可決された。最後は第7区農家組合（辻村吏組合長）で来賓にJA花巻農協の熊谷叔加石鳥谷支店長をお招きし、組合員数50戸中、本人出席36名、委任状8名で総会成立され再度、畠山勝敏さんを議長に選出。全議案は満場一致で可決された。終了後は懇親会が開催され親睦が行われた。

### 八区の4団体が定例・通常総会を開催

3月23日に振興センターで八区の自治公民館と自治会と自主防災会の定例総会が行われ休憩後には第八区農家組合通常総会が35名の本人出席で行われた。最初に自治公民館（熊谷秀夫館長）の定例総会が行われて開会後の館長の挨拶で「昔の話にはなりますが昭和35年の区長記録に拠ると8区には65世帯があり1世帯あたり6.7人が生活していました。しかし現在は半分以下の2.8人となり非常に残念です。現状に負けずより良い地域づくりに協力をお願いします」と挨拶された。続いて議長に熊谷恭一さんが選出されて3件の議案が上程され全員の拍手で可決された。次に自治会の審議が行われこれも満場一致で可決された。次には自主防災会（菅原昭悦会長）の審議が行われ全員の挙手で可決された。休憩のあと石鳥谷第八区農家組合の通常総会が行われ

た。開会の菅原純一組合長の挨拶は「今年一年皆様のご協力で組合長を務めさせて頂きました。異常な天候の為心配でしたが例年よりは増収になり胸をなでおろしています」と挨拶した。続いて、来賓の花巻農業協同組合の藤原正彦理事から「本日の総会おめでとうございます。花巻農業協同組合は2月末の決算では前年度を上回る事が出来ました。農業の情報が多く発信されています。これを末端の農家へいち早く届けるかが今の課題になっており改善に努めている処です」と祝辞を頂いた。議長には4回目となる熊谷恭一さんを選出して上程された4つの議案が審議され賛成多数で可決された。終了後は6年ぶりの懇親会が行われ久しぶりの情報交換の場となった。

### 九区で4団体の総会を開催

3月22日の午後から9区では休憩を含みながら4団体の総会が開催された。最初は下大瀬川美土里の会（高橋義晃代表）の総会で会員数140人中、本人出席47人、委任状79人で総会成立宣言され、議長に菅原優さんを選出し議事に入った。事業報告では、平成19年の設立から令和6年度で18年目となり、6年度から「多面的機能発揮促進事業に関する計画」を新たに策定し花巻市長の認定を受けたと報告があった。また、葛丸川と薬師堂川の有害対策として岩手県南広域振興局土木センターに依頼し、緩和帯と景観上の観点を含め伐採をして頂いたとの報告もあった。その後、役員改選を含んだ全3議案が全員の挙手で可決された。その他として、今後の葛丸川河川敷に有害対策として電気柵設置についての美土里の会としての対応と他団体との協力についての検討が出された。続いて、第九区自治公民館（菅原邦典館長）の総会に入り、会員数143人中、本人出席47人、委任状95人で総会成立宣言され、同じく議長に菅原優さんを選出し議事に入った。その中の事業計画で葛丸川河川敷の草刈りを行っているが、来年度からは「富沢橋から松林寺橋までの河川側4,000m2を新たに岩手県南広域振興局土木センターからお願いしたい」と依頼があり、事業計画に入れるので協力をお願いしたいとあった。全部で5案件が審議され、満場一致で可決された。

休憩を挟み次に第九区自主防災会（山形圭子会長）の総会に入り、3回目となる議長に菅原優さんを選出し、令和6年度の事業報告と33,755円の決算報告や災害時緊急連絡体制案の確認などの4案件が可決された。最後は、第九区農家組合（藤原咲子組合長）で組合員数49名中、本人出席42名、委任状7名で総会成立宣言後、最後の議長も菅原優さんを選出し、組合賦課金1戸あたり3,000円などの5議案が満場の拍手で可決された。今年も合同の懇親会は行わず、各自に折詰とお酒を手手に帰途についた。

### ツバメの春便り

九区の高橋昭一さんの家には今年もツバメが来たそうだ。今年の春便りは遅いような気がしていたが、昭一さんによると飛来したのは去年と同じ日とのことであった。

### 救急救命講習と軽スポーツ大会を開催

2月19日に第八区自治公民館と自主防災会では救急救命講習会と軽スポーツ大会を20名が参加して行った。最初に花巻北消防署の4名の消防士から、急に人が倒れた時の応急処置の方法を、4チームに分かれて4体の胸部圧迫人形を使って行なった。チーム内で心臓マッサージをする係と119番に通報をする係、大声で助けを呼ぶ係に分かれて緊迫した講習をした。また、心臓マッサージは救急車が来るまで行う必要がある為、体力が必要な為で交代で行った。ほかに、AEDを使用した講習も行われ、コロナ禍をはさんで暫くぶりの講習会なので、忘れてしまったこともあり皆さん真剣に取り組んだ。休憩後は、軽スポーツ大会が行われ、ディスクッターと輪投げの2種目で競った。点数は気にしないで和気あいあいと体を動かし、それぞれの競技の1位から3位までには大きな賞品が、5位やとび賞などにも賞品が贈られた。

### 踊りも出て盛り上がったふれあいサロン

あじさいの会（板垣福子会長）では3月18日に八重畑にお住まいの川村はつ子さんを講師に迎えてふれあいサロンを開催し35人が参加した。川村さんは去年の11月にも講師に引き、参加者からたいへん好評だったので連続でお願いした。今回は主に岩手県の民謡の解説や歌われ始めた背景などを教えて頂いている。岩手の民謡は少し暗い感じのものが多いが、北海道や秋田や山形などの民謡は賑やかなものが多いと話していた。今回も民謡が歌われ始めた背景の説明と歌詞が参加者へ配られ、川村さんの歌に合わせて参加者も一緒に歌ったほか、「ここに幸あり」や「二輪草」など歌謡曲のカラオケに合わせてみんなで大きな口を開けて歌った。民謡は時代とともに変化しているそうで、例として有名な宮城県「大漁唄い込み」は斎太郎節と遠島甚句が合わさる全国的に知られるようになったと教えて頂いた。最後は「いしどりや小唄」に合わせて参加者の半分以上の人が輪になって踊り非常に盛り上がった。

### 板垣さんが写真展に5点を出展

3月5日から6日間にわたって「MK22plus写真展」が盛岡市の岩手教育会館で開かれ、板垣弘清さんの作品5点が出展され大瀬川写真クラブの二人が鑑賞した。当日は8名の写真家が33点を出展していて、板垣さんは「霜晨の湖畔・星降る高原・初夏の一の滝・氷上のワルツ・雪化粧」の5点だった。板垣さんからは、自分の写真の解説後に他の写真家も紹介して頂き、それぞれの作品の解説を頂いた。素人の私でも、解説があれば「なるほど」と思われ、芸術に関心がもてるようになった気がした一時であった。

# みつくら

令和 7年 4月15日 第432号  
 発行 大瀬川活性化会議  
 編集 「みつくら」編集委員会  
 花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2  
 大瀬川振興センター 電話45-6472

“お〜い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”

## 入学・卒業おめでとう大会と自転車教室を開催

大瀬川地区区子供育成会（板垣勇司会長）では3月16日に大瀬川振興センターで入学・卒業おめでとう大会と自転車教室が開催され保護者を含め20数名が参加した。

入学・卒業おめでとう大会では、今年の中学1年生になる板垣 龍（りゅう）さん（タバコ屋）と板垣維吹（いぶき）さん（高田かまど）から挨拶があり、続いて石鳥谷小学校新1年生の佐藤萌愛（めい）さん（野中家）、熊谷衣織（いおり）さん（越田家）の紹介が行われた。育成会からは進級する子供たちを含め全員に記念品が贈られた。

自転車教室では菅原房子・佐藤倉吉交通指導員からDVDによる交通ルールの説明や、実際に自転車を見ながら「ぶたはしゃべる」を合い言葉に「ぶ」はブレーキ、「た」はタイヤ、「は」はハンドル・反射材、「しゃ」はチェーン・サドル、「べる」はベルで覚えながら点検した。乗り方も全員で勉強し、通学時等、交通事故が起らないように親子で学んでいた。

## 129回目の戦没者慰霊祭を開催

4月3日、第129回大瀬川戦没者慰霊祭（藤原利博実行委員長）は雨が心配されたため、予定の慰霊碑前ではなく大瀬川振興センターで16名が出席して執り行われた。

この大瀬川の戦没者慰霊祭は、明治30年から欠かさず今日まで行われ、来年は130回目の記念慰霊祭となる。菊池宮司（熊野神社）の祝詞の後に、大瀬川の戦没者の名が読まれ、主催者の藤原委員長、遺族代表の板垣邦博さん、地区を代表して菅原昭悦区長が玉串を捧げた。

終了後に藤原委員長は「戦争の悲劇を語り継ぐ人が少なくなっています。来年で130回の節目を迎えますので、恒久平和を肝に命じ、今後も協力をお願いします」と挨拶した。

また当日は、早朝6時から慰霊祭実行委員会の方々22名が慰霊碑やその周辺、さらに駐車場、進入道路などの掃除を行った。このほかに別途慰霊碑三塔の高圧洗浄での掃除も毎年行っている。

## 人 事（敬称略）

第7区自治公民館  
 館長 菅原清孝（再） 副館長 菅原敏幸（再） 菅原照子（新）  
 第8区自治公民館  
 館長 熊谷秀夫（再） 副館長 千田安彦（再）  
 第9区自治公民館  
 館長 菅原邦典（再） 副館長 高橋昭一（新）  
 第7区自主防災会  
 会長 菅原敏幸（再） 副会長 菅原清孝（再） 菅原照子（新）  
 第8区自主防災会  
 会長 菅原昭悦（再） 副会長 熊谷秀夫（再） 板垣正博（新）  
 第9区自主防災会  
 会長 山形圭子（再） 副会長 菅原邦典（再） 熊谷 豊（新）  
 第7区農家組合  
 組合長 菅原照子（新） 副組合長 菅原達也（新）  
 第8区農家組合  
 組合長 板垣正博（新） 副組合長 菅原 昇（新）  
 第9区農家組合  
 組合長 熊谷 豊（新） 副組合長 熊谷記彦（新）  
 下大瀬川美土里の会  
 代表 熊谷俊彦（新） 副代表 高橋昭一（再） 菅原邦典（再） 山形圭子（再）  
 花巻市消防団第13分団  
 分団長 畠山勝敏（新） 副分団長 板垣章郎（新）  
 第2部部長 菅原善孝（新）  
 大瀬川地区区子供育成会 会長 板垣 徹（新）  
 くずまるの花 代表 菅原茂子（新）  
 たんぼぼの会 会長 菅原文子（新）

## オリンピックの中野選手は菅原さんの親戚

令和6年5月のパリオリンピックの自転車トラック競技に出場した中野慎詞選手（25歳）は、中ノ家（大瀬川）の菅原道義さんの親戚との話を菅原幸福さんからお聞きした。

菅原道義さんのお母さんのサツさんは新堀の出身（旧姓鈴木）であるが、サツさんの妹のタカ子（漢字は不詳）さんが同じ新堀の中野家へ嫁いでいる。その中野タカ子さんの孫が中野慎詞選手だと菅原幸福さんから教えていただいた。中野選手は、オリンピックの決勝で惜しくも転倒し、メダルは逃したが見事4位に入賞している。

中野選手は4月6日に新堀ふれあいセンターで、新堀体育協会創立70周年記念講演会に講師で招かれ、「夢」の演題で130名（うち子供は50名）の聴講者の前で講演した

その中で、中野選手は子供の頃に同じ新堀出身の佐藤友和選手にあこがれて自転車競技を目指したという。佐藤友和選手は、日本でも著名な競輪選手で、直近4ヶ月だけでも1着が2回、2着が2回、3着が6回と賞金ランクも上位となっている。この佐藤友和選手のお母さんも大瀬川出身で、治郎助家の菅原善治郎さんの妹の佐藤弘子（旧姓菅原）さんである。

中野さんは講演で、「夢を持つこと」と「あきらめないこと」、そして「自分を信じること」が大切であると話された。

## 大瀬川の力持ち

「大瀬川に力持ちの人がいた」と板垣邦博さんからお聞きした。どんな力持ちなのか。

今から約60年前の昭和42年産米までは、大瀬川の米の出荷は藁で編んだ米俵に玄米60kgを入れて農協に運んでいた。その米俵を片手で引き上げた方が大瀬川にいたという。その方は木戸口家（通称小屋敷竈家）生まれの小山田良正（旧姓熊谷）さんである。木戸口家は現在、石鳥谷駅前の「星光舎クリーニング石鳥谷熊谷店」である。木戸口家は、昭和48年まで大瀬川（現在の鋼商東北支店）に住んでいたが、良正さんは石鳥谷駅前に移転した熊谷良善さんの弟さんである。小山田さんは、昭和48年の大瀬川小学校同窓生名簿には盛岡市川目に住んでいたとの記録がある。60kgの米俵はその後、昭和43年に同じ60kg入れの麻袋になり、またいつからか記録はないが、コンバインが盛んな時に紙袋になった。

## 訃 報

善助竈家の熊谷律夫さんは、4月2日に87歳で亡くなりました。熊谷さんのお父さんの熊谷勇吉さんは、小学校の教師で下閉伊郡川井村の箱石小学校に勤務していた時に結婚され、そこの教員宿舎でお生まれになった方でした。お母さんの熊谷敏子さんの生家は、柳田国男の遠野物語に出て来る「まよいが」の富豪の家で、下閉伊郡で一番の豪農でした。

その後にお父さんが赤石青年学校に転勤したのを機会に石鳥谷町好地に転居し、石鳥谷小学校に転校（3年生）、更に大瀬川小学校にも転校しました。しかし不運にも熊谷さんが12歳の時にお父さんを亡くされ、以後の艱難辛苦を乗り越えた方でした。中学校卒業と共に川村製材所（好地）で勤務中に、板垣幸道町助役（今坂家）の紹介で花巻土木事務所に勤務されました。

熊谷さんは、故板垣正（九口家）さんと共に大瀬川スポーツ少年団を設立してから石鳥谷町の卓球に大きな貢献をなされました。町内外の会長など卓球界の要職をされ、日本体育協会指導員の時の豊富な話題を思い出します。

大瀬川山林大火の時には、行政区長として大瀬川支援本部長を担い活躍されました熊谷さんに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

## 季節の小窓

令和5年のみつくら4月号を見たら、「こぶし」の咲き始めは3月27日で4月7日には満開と記載されていた。今年は、最初に咲き始める板垣寛さん宅が4月7日なので1週間ほど遅れているようだ。